

## 安全で安心の支えとなる良質なロードサービスの提供。 信頼のmcAccess eはJAFの社会貢献活動でも活躍!



**JAF**

お客様第一の考え方がJAFの情報通信システムを一変。  
mcAccess eへの移行がそのきっかけのひとつになりました。

インタビュー

「mcAccess eは広範囲な区域を、  
クリアな音声で結んでくれます!!」



●JAF 中部本部 RS部 中部指令室 副室長の内藤貴臣さん。

社団法人 日本自動車連盟 (JAF) 中部本部では以前、各支部の指令室がmcAccess (アナログ・1.5デジタル) を個別に運用し、救援依頼にあっていました。しかし、それは必ずしもお客様の利便にかなった通信体制ではなく、2006年4月、mcAccess eへ移行。中部本部と東海・北陸の7県7支部の広範囲な区域の情報管理機能を中部指令室に集約し、クリアな音声で結びました。

●JAF 中部本部 RS部 中部指令室 副室長の内藤貴臣さん。お客様からの救援依頼はすべてコールセンターで電話受付。中部指令室の指令員67名は、最新の動態管理システムを取り入れたパソコン画面でロードサービスカーの位置確認をしながら、現場に近い隊員にmcAccess eで迅速に要請内容を指令します。お客様第一の考え方から、JAFの情報通信システムが一変。mcAccess eへの移行がそのきっかけのひとつになりました。突発的な豪雨などの緊急時にも一斉指令で隊員の動きを指示します。「災害時には携帯電話に規制がかかり連絡が取れないこともありましたが、mcAccess eは通信の輻輳もなく、秘話性にもすぐれていて、地震の際には特に欠かせません」。「現在は、ネットワーク上でほとんどの業務が行えますが、1人で乗務する隊員にとって、指令員からのアドバイスや隊員同士の情報交換など、音声による通信は重要で、mcAccess eをなくすことはできません」。



●mcAccess eで通話する隊員。良質なロードサービスには、この通信システムは欠かせません。



●中部指令室。電話中に無線連絡が入ることもありますが、録音機能や着信履歴機能で確認することができます。



●すべての車にmcAccess eが搭載され、中部指令室との情報連絡に活用されています。

「JAF安全・安心支援活動」&「生活安全パトロール」。いまJAFが広く社会に向けて推進している取り組みです。いずれも通信手段としてmcAccess eが重要な役割を果たします。「安全の上にも安全を」など良質なサービスの考え方は、JAFならではの制度や規則として確立され、徹底されています。「道路交通法では運転中もmcAccess eは使用できるが、より安全を期し停車して通話する」などです。mcAccess eはJAFが展開するロードサービスを通信システムで支え、高速道路を走るお客様の安全・安心と快適ドライブを見守る業務の一端を担い、事故や犯罪の少ない街づくりをサポートしていきます。

Point

- 一斉指令で情報提供  
緊急時の一斉指令、定時の安全啓発、で事故を未然防止します。
- 広いサービスエリア  
7県7支部の主要な地域をカバーしており、ロードサービスカーに直接指示ができます。
- スピーディーに交信。クリアな音声  
雑音や混信がなく、音質がクリア。業務効率が向上します。